

平成 29 年度 近江ちいろば会の事業報告

1. 主な取り組み

●新規事業として、

介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、「総合事業ぼだいじるんるんクラブ」「総合事業ふれあいの家おしどり」「総合事業ぼだいじホームヘルパーステーション」の 3 事業を開始いたしました。

●地域貢献活動として、

*地域密着型デイサービスセンターにて「健康教室」「映画会」「音楽会」等を継続して毎月 1 回開催。

*認知症デイサービスセンターの一室(「地域のわが家」)にて認知症カフェ「つどい café」(週 1 回)を開催し、毎回 6~10 名位の近所の方が来られています。また、パソコン教室も週 1 回開催し、近所の主婦がボランティアで指導して下さっています。

*また、「コグニサイズウォーキング」と題して毎週金曜日の朝 7 時 30 分~8 時 30 分の間、近くの希望ヶ丘までお話しやクイズをしながらウォーキングをしています。地域住民との交流を図り、閉じこもり防止、交友関係づくり、生きがいつくり役に立っています。

*地域の夏祭りに参加

中央区(しんあい)、三上台(いこい)、北山台(グループホームぼだいじ)

*高齢者認知症発見保護訓練(3 年連続)に参加

当法人からも 22 名が参加し、菩提寺区の皆様と認知症啓発活動に取り組みました。

●法人ブランディング力・情報発信力の強化

*法人のロゴマークを一新しました。

ロバが「輝き」(利用者様の生きがいや職員の誇りと愛情)を乗せて前進していく姿を表現しています。



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

*法人ホームページのリニューアルを行うとともに Facebook を立ち上げ、法人並びに各事業所の取り組みやサービス提供状況などをタイムリーに情報発信しています。

●人材育成

*管理者研修、主任研修、非常勤研修を各々実施しました。

管理者、主任として、職員労務管理の知識や事業所の強み、弱み等をディスカッションし、問題解決をはかる機会となりました。また、非常勤研修では主に介護保険

制度の知識を学びました。

*法人内研修は、甲西リハビリ病院の田中院長をお招きし、「高齢者の骨折」について(2回)、認知症について(2回)、人権・感染症について(1回)、方針発表会(2回)を行い、職員のレベルアップを図りました。

*業務改善活動の取り組み(5月～2月)

QC手法を活用して、課題解決を図ることを目指して、10年継続しています。活動成果発表会では、地域の区長、民生委員の方々など約10名にもご参加頂き、法人の取り組みについてご理解を頂く、貴重な機会となりました。

*対外研修発表会に参加

各職場で取り組んだ事例を発表し、職員の意欲向上、自信に繋がりました。

- ・近畿老人福祉施設研究大会　　デイサービス虹、ケアハウス
- ・若年認知症研修　　デイサービスしんあい
- ・認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会
グループホームみなくちみんなの家

●施設整備

*グループホームぼだいじの共用場所のエアコンを更新。入居者への快適な環境提供に繋がりました。

*デイサービスのエレベータの効率的・効果的なメンテナンスのため、制御盤等の交換を行いました。

各事業所からの報告

1)法人本部

*「経営委員会」を立ち上げ、各事業所のグループリーダーを中心に法人の運営方針や具体的な事業展開策等についての意見交換や情報共有化を図りました。(年3回)

*理事会は4回(6/3、9/23、12/26、3/10)、評議員会は2回(6/21、3/28)開催。新たな役員・評議員により法人の事業・決算報告並びに事業・予算計画、定款、就業規則をはじめ諸規程の改定、設備投資計画等について協議頂きました。

*滋賀県指導監査(12/15)を受け、2項目の文書指摘及び口頭指摘があり、即刻改善に取り組み、是正報告を滋賀県に提出致しました。

2)ケアハウス「ピスガこうせい」

- ・年間の平均入居者数は 49.5 人。6 月以降、待機者も増加してきました。各ボランティアによる定期的な各種教室の開催などで入居者の満足度アップも図れた。

<教室名> 裁縫教室、囲碁将棋教室、絵手紙教室、スマイルコンサート(うたの会)

3)ぼだいじデイサービスセンター虹

- ・理学療法士の採用により機能訓練を強化し、機能訓練 I の加算取得に取り組みました。また、外部コーディネーターの指導により新たなプログラムの導入や環境整備を図りました。

4)ぼだいじデイサービスセンターいこい

- ・外部コーディネーターの指導を頂くことで、認知症予防の専門性の追求を図っています。また、バザーを開催することでご家族や地域の方々と友好的交流が図れました。

5)中央デイサービスセンターしんあい

開設 10 周年を迎え記念行事を開催しました。若年性認知症取り組み事業所の登録や認知症地域支援推進員としての活動にも取り組みました。地域支援として「男性家族の会」や若年性認知症の方へのアプローチとして「たこやきの会」を開催しています。

9)ぼだいじ居宅介護支援センター

新たに 1 人の介護支援専門員が加わり、5 人の体制でそれぞれの得意分野を活かしながら多様なケースに対応できる体制が整いました。

10)ぼだいじホームヘルパーステーション

私的サービスの広報に努め、新たなサービス向上に結び付けました。また、夜間・早朝の訪問も利用者ニーズに合わせて実施いたしました。

11)グループホームぼだいじ

共用型デイサービスを利用頂くことでスムーズな入居に繋がられました。また、近隣地区の夏祭りに模擬店を出店し、有意義な地域交流が図れました。

12)小規模多機能型居宅介護事業所ぼだいじみんなの家

個別体操の見直しを行い、利用者個々の自立支援に取り組んだ結果、利用者の活動量も増加しました。また、サービス利用の改善にも取り組み事業所運営の効率化がはかれました。

13)ぼだいじ訪問看護ステーション

体制整備を図りながら、居宅・病院回りを継続することで知名度アップが図れました。
また、医療度の高い利用者の訪問も行うことができました。

14)グループホームみなくちみんなの家

様々な地区行事に積極的に参加し、継続して地域住民との親密な交流が図れました。
また、初めて地元高校の学生が来訪し、見学を通じて事業所理解を深める機会も持つことができました。

15)デイサービスセンターみなくちみんなの家

目的別体操や生活動作の実践的な体操を取り入れ、自立支援の強化に取り組みました。

16)ケアプランセンターみなくちみんなの家

対応の早さを評価頂き、はじめて地域包括支援センターから依頼を受けることができました。

17)デイケアの家おしどり

定員を10名から15名に変更し稼働が上げることができました。また、コグニサイズをケアに取り入れることで認知症予防に結び付いています。

18)ゆめとまの家おしどり

ゆめとま畑の収穫感謝祭を2回開催でき収穫、調理、食事で利用者・ご家族・地域の方々と楽しい時間をお過ごし頂くことができました。

19)総合事業ぼだいじるんるんクラブ

毎週2回、約20名の利用者が調理、手芸、工作、体操など趣味を生かしながら和気あいあいと時間を過ごして頂き、介護予防につながっています。

20)総合事業ふれあいの家おしどり

地域のボランティアの参加により地域ぐるみの運営が行えています。お話し、歌、散歩、手芸などそれぞれ得意なものを楽しんでおられます。